


| | | |
|----------------------------------|--|----------|
| 『ROMA/ローマ』 原題 <i>Roma</i> 2018 年 | | 執筆者：清水純子 |
| 制作国 | メキシコ、アメリカ | |
| スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他) | <p>スタッフ：監督&脚本 アルフォンソ・キュアロン/製作 アルフォンソ・キュアロン、ガブリエラ・ロドリゲス、ニコラス・セリス/ 製作総指揮 ジョナサン・キング、デヴィッド・リンド、ジェフ・スコール/</p> <p>キャスト：クレオ - ヤリッツァ・アパリシオ/ ソフィア - マリーナ・デ・タビラ/ アントニオ - フェルナンド・グレディアガ/ フェルミン - ホルヘ・アントニオ・ゲレーロ/ ペペ - マルコ・グラフ/ ソフィ - ダニエラ・デメサ/ トーニョ - ディエゴ・コルティナ・アウトレイ/ パコ - カルロス・ペラルタ/ アデラ - ナンシー・ガルシア/ テレサ - ヴェロニカ・ガルシア/ ラモン - ホセ・マヌエル・ゲレロ・メンドーサ/</p> | |
| 画像 |  <p>Netflix</p> | |
| カラー・モノクロ | モノクロ | |
| 時間 | 135 分 | |
| ストーリー | <p>メキシコシティの白人医師の家庭に先住民のクリオは、住み込み家政婦として4人の子供たちの面倒を見る。クリオは武道に打ち込む恋人フェルミンの子供を身ごもるが、打ち明けるとフェルミンは姿を消す。奥様ソフィアも愛人のできた夫アントニオに捨てられる。臨月のクリオは、フェルミンがデモで発砲したのを見てショックを受けて死産する。ソフィア奥様は、失意のクリオを子供たちと共にベラクルスへの旅行に誘う。海辺で溺れかけた一家の子供たちを救ったクリオは、出版社勤務を決意した奥様の信頼を確かなものにして、今後ますます一家のために働く決意を固める。</p> | |
| 時代設定 | 1970 年代 | |
| 場所 | メキシコシティのコロニア・ローマ | |
| 社会背景 | <p>1968 年メキシコシティでのオリンピックの直前に起きた反政府の学生弾圧「トラテルコ事件」、1971 年 6 月 10 日の「血の木曜日事件」は、メキシコの近代化の歪みを露呈した。メキシコは、政治的にも経済的にも不安定な危機的状況にあり、動乱やデモによる死傷者が絶えなかった。</p> | |
| 文化的背景 | 土地のメキシコ人の貧困、白人層の経済的社会的優位、男尊女卑、無責任な | |

| | |
|---------------|---|
| | 男性の家庭放棄と子供を養う女性たち。 |
| 使用言語 | スペイン語 |
| テーマ | メキシコシティで育った監督キュアロンの半自伝的物語。住み込み家政婦が見た中流家庭の日常生活と人間関係の機微。 |
| みどころ | 1970年代メキシコシティの生活、貧富の差、人種による階級差、男尊女卑に泣かされるが、たくましく生きる女性たち。 『ROMA/ローマ』はNetflixのネット配信用映像が劇場公開されて、ニューヨーク映画批評家協会賞作品賞に加えて、2018年・第75回ベネチア国際映画祭コンペティション部門金獅子賞、第91回アカデミー賞作品賞、外国語映画賞、監督賞、撮影賞を受賞したことによって、映画関係者の賛否両論の嵐を巻き起こした。 |
| 印象深いせりふ | It's just that... I'm with child... FERMÍN What's it to me? CLEO Well, the little one's yours. FERMÍN No fucking way! CLEO But it is, Fermín! FERMÍN I told you already, there's no fucking way! So if you don't want me to fuck you up real bad, you and your "little one" too, don't ever fucking say it again and don't ever come looking for me again! ~~~~~ SEÑORA SOFÍA No. Your dad never went anywhere. Well, yes. But he only went for a week and... your father's not coming back home. We came on this trip so he could come get his things from the house. PACO What things? SEÑORA SOFÍA His things. Or what he says are his things. His clothes, the bookshelves... PACO Are you getting a divorce? SEÑORA SOFÍA He says he doesn't know. SOFI He doesn't love us anymore? SEÑORA SOFÍA Dad loves you very much. He says he wants to see you. TOÑO When? SEÑORA SOFÍA He says he doesn't know when... Soon. There will be many changes, but we'll be together and it'll be an adventure |
| 授業教材用 メリット | 1970年代メキシコの政治情勢、生活習慣、貧富の差、人種問題がよくわかる。男尊女卑の傾向が強い地域で、女性が子供を抱えて苦勞する姿に共感が持てる。 |

| | |
|----------------|--|
| 授業教材用 デメリット | 退屈する学生が多いと予想される。優れた映画に特徴的な強力なメッセージとインパクトが薄い。クレオの恋人のメキシコ人男性が全裸で武道を披露する姿や犬の糞を掃除する場面は自然に撮られているが、嫌がる学生もいるだろう。スペイン語なので英語の授業には向かない。映画として特に魅力的ではなく、家庭鑑賞用には不適切な場面もあり、媒体としては中途半端な内容だが、ネット配信のNetflixが映画市場参入成功の記念碑的作品としてみれば納得できる。 |
| 映像入手元 | Netflix（ネットフリックス） |
| 原作の有無 | 無 |
| 支持反応 | metacriticによる評価（批評家 93、観客 8.4）、 Rotten Tomatoesによる評価（批評家 96、観客 8.0） |
| キーワード | メキシコ、家庭、中産階級、政治的混乱、愛、マッチョ、家政婦、先住民、階級、人種、ネットフリックス、ネット配信作品が劇場公開。 |

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します